

様式（第5条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回公立学校通学区域等審議会	
開 催 日 時	令和2年 1月29日（水） 開会：午後7時00分・閉会：午後8時00分	
開 催 場 所	産業文化会館 2A会議室	
出席者(委員)氏名	山野達雄会長、安藤秀一、中居武司、仙名千晴、小山貴司 羽鳥修弘、羽鳥嗣郎、木元健治	
欠席者(委員)氏名	菅沼陽一、羽鳥英樹、稲葉準一、千葉房慶	
事 務 局	鈴木教育長、江利川学校教育部長、諸貫教育総務課長、白井久積、嶋田、柏瀬	
会 議 内 容	1 開会 2 委嘱状の交付 3 あいさつ 4 学校再編成の進捗状況について 5 閉会	
会 議 資 料	（資料名・概要等） ・第1回公立学校通学区域等審議会次第 ・公立学校通学区域等審議会委員名簿 ・第1回公立学校通学区域等審議会資料	
その他必要事項	傍聴者 なし	
会 の 議 確 録 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名 押 印
	平成 年 月 日	㊟

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	1 開会 2 委嘱状の交付 3 あいさつ （鈴木教育長、山野会長） 委員の自己紹介 4 学校再編成の進捗状況について （資料のとおり説明） 何か質問等はあるか。
山野達雄会長	中央小・星宮小の再編成について、新校開校ということで進めているということによいか。
事務局	校舎等については、中央小を利用するが、あくまで新しい学校を開校するという進めており、これから新しい校名や校章等を決めていくこととなる。
山野達雄会長	その点について、保護者や地域の方からの反応はどうか。
事務局	今回策定した再編成計画では、再編を伴う場合には、いずれの学校も閉校し新しい学校を立ち上げるという基本方針である。それに沿った形で保護者、地域の方に説明している。星宮小の保護者には、場所として現実的に児童を収容できる施設は中央小しかないということで理解をいただいている。中央小の保護者には、自分たちの地域の児童が通う新しい学校なんだと

山野達雄会長	いう意識を持ってもらうために、新しい学校と一緒に作っていかうという説明をさせていただき、多くの方に理解いただいたという感触を得ている。
事務局	地域の方はいかが。
事務局	準備委員会や専門部会などで地域の代表として参画いただいているので、また、広報誌や市のホームページなどにより、広く周知できるよう進めている。
木元委員	スクールバスは委託で実施するのか。また、私立学校のスクールバスなどを見ると、運転手が皆高齢の方であるように思う。実際にスクールバスを運行する場合に運転手は一人体制なのか。教員等が同乗することはないのか。
事務局	視察した義務教育学校では、運転手が点呼して乗車する児童を確認しており、他の者が同乗してはいない。
事務局	地元の観光会社にスクールバスについて伺った際に、勤務体制は、運転した距離等が賃金に関わることから同じ人が専属で行うことはしないとのことであった。また、本日、春日部にスクールバスの視察に行ってきた。そこでは、マイクロバス 2 台の運行に対し、16 名程度の運転手がいる。通学部会の協議の中で、運転手は顔見知りの方がいいとの意見があったのでその点も気にしてみたが、1 年近く経つ現在では、子供たちも運転手に慣れ、乗車の際には、何番の何々ですと名前を運転手に伝えて自分の席に乗り込んでいる状況であった。
事務局	スクールバスについては、専門的に 1 人とか 2 人が従事する

	といった体制ではなく、委託業者はスクールバスだけではなく長距離バスの運行も行うことから、シフトを平準化することが一般的のようである。また、春日部では、運転手への点呼など子供たちがバスに乗車する練習を行ったと伺っている。乗車の体制についてはまだ決まっていない状況であるが、子供たちの安全を第一に検討していく。
山野達雄会長	見沼中学校区について、義務教育学校という新しい制度の学校を開校させるという点についてどのような反応か。
事務局	義務教育学校について、保護者、地域の方ともなかなかイメージがつかみづらい状況にあると考えている。そのため、その情報をできる限り発信していく。教育課程についても新しい指導要領を基にどのように9年間をつないでいくかを具体的に示し、周知していくしかないと思っている。
羽鳥修弘委員	先日の準備委員会の中で、以前説明会や協議会で同意を取っていたときの内容と一部違った内容が説明のないまま進んでいるとの話があり、それについて不信感を抱いている人がいると聞いている。計画に変更が生じることはあると思うが、一度駄目になったところも含んでいることから、その辺は少し丁寧にやっていただきたいと思う。
事務局	依然と内容が変わったというのは、施設整備の問題で、当初増築が必要であろうと予定していたが、基本的には既存校舎の使い方を工夫して、義務教育学校の特色に合うように整備するという方針に変えさせていただいた。まだ具体的な配置等をお示しできる段階ではないので、折をみて説明していきたい。その点については、ご指摘のとおり丁寧に行っていきたいと考

	えている。
羽鳥修弘委員	部会で協議を進めていく中でも委員の中で少しモヤモヤした雰囲気があるので、経緯も含めて丁寧に説明していただきたい。
羽鳥嗣郎委員	中央小と星宮小の再編後は、忍中と小中一貫教育を進めるのであれば、忍中とかけ離れた名称にするのはどうなのか。
事務局	小中一貫教育の取組を行うにあたり、学校の名称については特に問題ない考える。
小山貴司委員	埼玉では、再編成や小中一貫教育についての話が聞こえてこない。再編成や小中一貫教育についていろいろな意見が出ていることなど周知したほうが、ほかの地区もやりやすいと思う。
羽鳥嗣郎委員	P T A 部会などで、反対の意見は出ていないのか。
事務局	P T A 部会は、新しい学校での P T A 活動について協議いただく機関なので反対の意見が出てきてはいない。部会等で協力いただいている P T A の方から、保護者の意見をいただくことがあるが、子供たちのことを一番に考え、再編成については理解をいただいている。
羽鳥修弘委員	やり方等は別にして、再編成については大方理解をしていると思う。
山野達雄会長	今後の審議会のスケジュールはどうなのか。
事務局	市内全中学校において、再編成計画の説明をしたので、小中

一貫教育などの点から、小学校から分かれて中学校に進学しなければならない地域の保護者から意見をいただいた。このようなことが、地域全体の要望として上がった場合には、通学区域の見直しについて協議いただくことがある。また、再編成についての進捗状況も報告する予定である。

5 閉会